

News Release

2020年9月24日
独立行政法人製品評価技術基盤機構
NITE（ナイト）
東北支所

中古品に潜む危険！リユース時の注意 ～安全で持続可能な社会を目指して～ (東北版資料)

1. 事故の発生状況

2015年度から2019年度までの5年間にNITEに通知のあった製品事故情報^{※1}のうち、中古品の事故は合計325件^{※2}確認されました。そのうち死亡事故は11件（12人）、重傷事故は14件（14人）発生しています。

東北地方でも中古品の事故は19件発生しています。また、全国の死亡事故11件、重傷事故14件のうち、死亡事故2件、重傷事故2件は東北地方で発生しています。

フリマアプリ^{※3}などの登場により、個人間で製品の売買が気軽に出来るようになりましたが、中古品を提供する側、入手する側のそれぞれで気をつけるべきポイントを確認し、事故を未然に防ぎましょう。



(ノートパソコンから出火)



(除雪機で手指をけが)

表1 中古品の事故の県別の年度別事故発生件数

発生年度	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
2015年度	0	1	2	1	0	1	5
2016年度	1	0	0	1	0	0	2
2017年度	3	0	0	1	0	0	4
2018年度	0	1	0	0	0	2	3
2019年度	2	1	0	0	1	1	5
合計	6	3	2	3	1	4	19

表2 中古品の事故の県別の被害状況別事故発生件数

被害状況	発生県						合計
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	
死亡	0	1	0	0	0	1	2
重傷	1	1	0	0	0	0	2
軽傷	0	0	0	0	0	0	0
拡大被害	5	1	1	2	1	2	12
製品破損	0	0	1	1	0	1	3
被害なし	0	0	0	0	0	0	0
合計	6	3	2	3	1	4	19

表3 中古品の事故の県別の事故原因区分別発生件数

原因区分	発生県						合計	
	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島		
製品に起因する事故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	2	0	1	0	0	1	4
	B: 製品及び使い方に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因ではあるが、その原因が不明のもの	1	0	0	0	0	0	1
製品に起因しない事故	D: 施工、修理、又は輸送等に問題があったもの	0	0	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	1	1	0	2	0	0	4
	F: その他製品に起因しないもの	0	0	0	0	0	0	0
G1、G2: 原因不明のもの	1	1	1	1	0	2	6	
H: 調査中のもの	1	1	0	0	1	1	4	
合計	6	3	2	3	1	4	19	

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※3) インターネット上で、フリーマーケットのように物品の売買を行えるスマートフォン用のアプリ。

2. 主な事故事例

○2016年2月7日 除雪機（岩手県、70代男性）

事故内容：使用者が当該製品を使用中、当該製品と小屋の柵に挟まれ、病院に搬送後、死亡が確認された。

事故原因：当該製品で後進中、使用者が走行クラッチレバーの上に覆いかぶさる状態で背面の鉄パイプとの間に挟まれたため、上部の緊急停止バーが押されても使用者の体で走行クラッチレバーが「入」の位置に固定されていたため走行クラッチレバーが「切」に移動せず、その状態で当該製品が後進を継続したことにより、上部の緊急停止バーを変形させながら使用者を圧迫したものと推定される。

○2019年1月8日 電気ストーブ（福島県、70代女性）

事故内容：電気ストーブ付近から出火して、周辺を焼損し、1人が死亡した。

事故原因：配線に溶融痕が認められたが、一次痕か二次痕か特定できず、焼損が著しく、全ての電気部品を確認できなかったことから、原因の特定はできなかった。

○2018年2月28日 除雪機（青森県、40代男性）

事故内容：使用者が当該製品を使用中、当該製品の排雪口に詰まった雪を取り除こうとしたところ、左手指を負傷した。

事故原因：当該製品で除雪作業中、使用者が排雪口に詰まった雪を取り除く際、備付けの棒を使用せず手で雪を取り除こうとしたため、惰性で回転していた排雪口内の刃に指が接触し、負傷したものと推定される。なお、本体及び取扱説明書には、「排雪口内の雪を取り除くときは、エンジンを停止し、オーガとブロアの回転が完全に停止したことを確認してから、必ず備付けの雪かき棒を使用する。」旨、警告表示されている。

○2019年9月19日 自転車（岩手県、50代女性）

事故内容：当該製品で走行中、ハンドルがロックし、転倒、負傷した。

事故原因：事故の原因は、現在、調査中であるが、「一発二錠」を搭載した自転車で、ハンドルロックのケースの破損などが原因で錠が誤作動し、走行時にハンドル操作ができなくなったものと考えられる。

○2018年5月6日 ノートパソコン（福島県、年齢・性別不明）

事故内容：充電中のノートパソコンから火が出て、周辺を焼損した。

事故原因：バッテリーパックに使用している電池セルの製造上の不具合により、電池セルの封口部に導電性異物が付着したため、充放電を繰り返すうちに封口部の絶縁性が失われ、電池セルの内部が短絡して異常発熱し、出火に至ったものと推定される。

3. 製品事故の実験映像について

製品事故の実験映像に関しまして、写真及び動画をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

以上

【編集人のつぶやき】

コロナ禍の外出自粛により、通信販売やインターネット上のフリーマーケットサイトが便利に利用されています。編集人もそのような通称「フリマアプリ」を利用しています。不要になった物を出品し、また自身で必要な中古品をお手軽な値段で購入出来るので、自宅に居ながら売り買い出来る非常に便利なツールです。

お気軽に出品も買い物も出来て便利ではありますが、これまでの売買取いた中古品の事例を考えると、電気製品などで取扱説明書が無いまま売買したり、リコール情報を確認していないケースも多く、自分自身が反省することとなりました。

中古品を売る側も買う側も、それぞれで気をつけなければならないポイントを押さえて、中古品での事故も未然に防ぐようにしましょう。

(本件に関する問い合わせ先)

〒983-0833 宮城県仙台市宮城野区東仙台 4-5-18

独立行政法人製品評価技術基盤機構 東北支所

ナイト

(略称:NITE)

担当:菊地(きくち)、齋藤(さいとう)、照井(てるい)

電話:022-256-6423

E-mail:jiko-tohoku@nite.go.jp

NITE
ホームページ

YouTube
公式チャンネル

Twitter
公式アカウント

